

最先端の医療技術と心の通った診療で 20年にわたり地域から愛され続ける歯科医院

1991年に、大阪市阿倍野区でスタートした「西村歯科医院」。開業以来、地域密着型医療に徹し、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の患者の要望を敏感に汲みながら、丁寧かつ最良の治療を施している。また、西村理事長は患者とのコミュニケーションも大切に、その親しみやすい人柄から世間話を楽しんでいく人も多いという。本日は、佐藤蛾次郎氏が同院を訪問し、理事長にお話を伺った。

佐藤 まずは、西村理事長の歩みからお聞かせください。

西村 私は小学4年生のころから熱帯魚の飼育に凝っており、大学は水産科に進みたいと考えていました。しかし、「これからの時代は医療の分野に進むのがいい」と父に勧められたことで、親戚が住んでいた福岡の歯科大学に進んだのです。そちらにいらしたある教授に非常に可愛がっていただきまして、卒業後は大学に残って研究をしないかと誘われたのですが、私の知らない間に親が断わってしまっていてね（苦笑）。そこで大阪に戻り、開業医もなさっている別の教授の下で修業させていただくことにしたのです。

佐藤 ご両親は、理事長が研究に専念するより、開業医として活躍されることを望んでいらしたのでしょうか。

西村 私としては研究への思いも捨て切れず、当院を開業してからも研究を続け、最近ようやく大阪歯科大学から学位をいただくことができました。本当なら、もっと若いうちに取得するものなのですが（笑）。

科医院が増えていますが、そうした風潮についてはどう思われますか。

西村 実は当院も一度、大幅なリニューアルを考えたことがあったんです。しかし、患者様が本当に求めているものは何かと改めて考えた時に、それはハード面ではなくソフト面の充実だと気づきました。無理に時代の流れに合わせようとすることはなく、一人ひとりの患者様とのふれあいの時間を大切に、丁寧で丁寧な細かな診療に徹するという、これまでずっと貫いてきたスタイルを維持することにしました。

佐藤 理事長の考えに私も賛成です。

西村 お陰様で当院は、2011年の今年で開業20周年を迎えました。そのため建物は年々入っていますが、治療内容に至っては常に最先端のものを導入していますし、医療機器においてもCTスキャンを除く多種多様な器具を揃え、あらゆる治療に対応できる体制を整えています。

佐藤 確かに最近できたばかりの歯科医院は一見目を引くかもしれませんが、「西村歯科医院」さんには20年にわたり培ってきた



西村 耕一
医療法人 西村歯科医院
理事長・歯学博士

ゲストインタビュー 佐藤 蛾次郎



医療法人 西村歯科医院
大阪府大阪市阿倍野区阪南町3丁目6番19号
TEL 06-6629-0418
URL: <http://www.shika-nishimura.com/>



「とても温かい笑顔が印象的で、つい何でも相談したくなる雰囲気をお持ちの西村理事長。20年もの間、地域の人々に愛され続けているのも納得です。患者様の中には、こちらに居心地の良さを感じて、待合室で井戸端会議に花を咲かす方々もいらっしゃるかと（笑）。これからも、皆様の歯消だけでなく、心の悩みも活躍する医院として、一層ご活躍されていくことでしょうか。私も応援しています！」

佐藤 開業医をされながらですから、相当な努力を要することだと思いますよ。そんな理事長が診療において、大切にされていることは何ですか。

西村 当院は、いわゆる「街の歯医者さん」ですから、小さなお子様からお年寄りの方まで、幅広い年齢層の方がいらつしやいます。当然、それぞれに求められることや適切な治療は異なるため、相手のニーズを汲み取り、後々のことまで考えて、どうすればその患者様にとって一番良い結果をもたらすかということを常に考えながら診療にあたっています。また、私は公私にかかわらず、固定観念にとらわれないでいるということも心掛けています。歯の治療においてもこの症状はこの方法でしか治せないという決りつけしてしまうのではなく、視野を広く持ち、最先端の治療技術についてなど、日々勉強に努めながら、できるだけ患者様に負担の掛からない治療法はないかと模索しています。

佐藤 なるほど。ところで、最近ではまるで高級サロンのような見た目もお洒落な歯



理事長・歯学博士 西村 耕一

また、訪れたくなる歯科医院

子ども大人にかかわらず、どうしても敬遠されがちな歯科医院。できることなら「行きたくない」というのが、多くの人の本音であろう。定期的に検診に通えば、さして痛い目に遭わずに済む、それが分かっている、やっばり足が向かないという人が多いのは、それだけ患者のニーズと世の歯科医院のサービスにギャップがあるということなのかもしれない。そうした中、20年以上の間、地域の人々から親しまれ続けているのが「西村歯科医院」だ。同院では、幼い子どものために保育士を

常駐したり、最先端機器を随時導入するなど、誰もが安心してできる環境を追求し続けている。そして、何より同院を思いややすい場としているのが西村理事長の存在だ。理事長は子どもから大人まであらゆる患者の視点に立ち、一人ひとりのふれあいを大事にしなが、懇切丁寧な診療に努める姿勢を決して崩さない。歯の悩みにかかわる相談だけでなく、どんな話にでも真摯に耳を傾けてくれる——そんな心遣いがうれしくて、人々はまた「西村先生に会いに行こう」と、同院を訪れるのだ。



た実績と信頼があります。何より、地域の人々の多くは、理事長の腕を頼り、またお人柄に親しみを寄せて、こちらに通い続けていらつしやるのだと思いますよ。

西村 そう思っていただけならならうれしいですね。私自身、患者様とお話の時間がとても楽しく、やり甲斐につながっているのです。世間話をしていて、ご家庭やお仕事での悩みも何となく見えてきますが、私が話し相手をしていただくことで、解決にまで至らずとも、ほんの少しでも気持ちや和らげるお手伝いができるのなら本望です。

佐藤 お話も尽きませんが、最後に今後への意気込みを。

西村 これまで通い続けてくださっている方だけでなく、なかなか自分に合った歯医者が見つからないといった方や、歯医者に初めて通うという小さなお子様など、地域に住まう人々誰もが気軽に通える歯科医院であることを目指して、今後も邁進し続けていく所存です。